

「海をきれいに、安全に、秩序正しく」

海上保安友の会札幌支部



会 報 (第 3 3 号)

平成 3 0 年 8 月 2 7 日 発行



小樽うしお祭り花火大会(7月29日)

【掲載内容】

- ☆ 平成 3 0 年度役員会
- ☆ 平成 3 0 年度日露合同訓練等
- ☆ 投稿コーナー等

海上保安友の会札幌支部事務局
〒047-0007
小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎
小樽海上保安部 管理課 内
電話 0134-27-6118 FAX0134-23-9700

会員数 202名 (正会員 97名、家族会員 105名) (H30.8現在)

平成30年度海上保安友の会札幌支部役員会の開催について

事務局

平成30年5月27日（日）、小樽地方合同庁舎2階会議室において、本年度の役員会が開催されました。

当日は、顧問である梶山小樽海上保安部長にも参加していただき、徳梅会長の開催挨拶のあと、役員会の改選が行われました。

今回の改選で、元起理事と日下部会計監事が諸般の事情により退任されることとなり、後任として、当会の活動に積極的に取り組んでいただいている澤田さん、小田島さんの2名が理事、会計監事へ就任することが承認されました。

その後、平成29年度事業報告、決算報告、平成30年度事業計画、予算案について、事務局から報告がなされ、出席役員満場一致で承認されました。

○平成29年度事業活動報告

行事名	開催地	実施日	主催	活動内容
官民合同救助訓練	小樽ドリームビーチ	7/3	小樽海上保安部	小樽海上保安部、小樽市消防本部、ドリームビーチ協同組合、小樽ライフセーバークラブとの合同救助訓練
マリンフェスタ in 小樽	小樽港	7/16	第一管区海上保安本部海洋情報部及び小樽海上保安部	「マリンフェスタ in 小樽」の一環として海上保安庁ブース設置による広報活動
本部総合訓練	小樽港	7/22	第一管区海上保安本部	第一管区海上保安本部所属の巡視船艇及び航空機による総合訓練を実施
交流会	小樽市内	7/29	第一管区海上保安本部	小樽潮まつり(ねりこみ)に、第一管区海上保安本部、小樽海上保安部職員と参加
石狩浜海浜清掃	石狩新港浜	9/3	浜辺と海をきれいにする会	第一管区海上保安本部、小樽海上保安部と合同参加(会員30名参加)
神威岬灯台一般公開	積丹町	9/17	小樽海上保安部	午前・午後と一般公開を実施した。
石狩灯台一般	石狩市	10/22	小樽海上保安部	午前・午後と一般公開を実施した。日没後は、ライトアップを行った。
会報の発行(年2回)		8、3月	友の会札幌支部	第31号、第32号を発行し、正会員に配付
卓上カレンダー配布		12月	友の会札幌支部	正会員に配付

平成29年度 収支決算書

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

海上保安友の会札幌支部

収入の部				支出の部			
科 目		予算額	決算額	科 目		予算額	決算額
大科目	中科目			大科目	中科目		
会費収入		円 412,000	円 441,500	事業費		円 464,050	円 406,290
	会費収入	384,000	408,000		本部納入金	217,250	225,951
	特別会費収入	22,500	22,500		活動費	167,400	118,463
	入会金収入	5,500	11,000		広報資料費	0	0
寄付金収入		1,000	1,000		通信運搬費	78,400	68,876
	寄付金収入	1,000	1,000		雑費	1,000	1,000
雑収入		1	2	管理費		50,000	37,634
	受取利息	1	2		旅費交通費	20,000	10,860
	雑収入	0	1,000		事務費	20,000	16,774
					雑費	10,000	10,000
前期繰越 収支差額		202,248	202,248	次期繰 越収支 差額			201,826
	前期繰越 収支差額	202,248	202,248		次期繰越 収支差額		201,826
合計		615,249	645,750		合計	514,050	645,750

○ 平成30年度事業計画（案）

行事名	開催地	実施日	主催	活動内容
日露訓練一般公開	小樽港	6/7	第一管区海上保安本部	えさん・ロシア警備艇一般公開
日和山灯台一般公開	小樽市	6/9	小樽海上保安部	一般公開見学
神威岬灯台一般公開	積丹町	6/24、 8/3・9月	小樽海上保安部	一般公開見学
本部総合訓練	小樽沖	7/21	第一管区海上保安本部	道内所属巡視船艇による各種事案対応訓練見学、会員募集
交流会	小樽市	7/28	第一管区海上保安本部	潮まつり(ねりこみ)に職員と参加
石狩浜海浜清掃	石狩新 港浜	9/2	浜辺と海をきれいにする会	昨年同様、本部と合同参加し、 海浜清掃後石狩灯台見学
石狩灯台一般公開	石狩市	9/23	小樽海上保安部	一般公開見学
会報の発行(年2回) 卓上カレンダー配布		8・3月	友の会札幌支部	正会員に配付

平成30年度 収支予算書 (案)

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

海上保安友の会札幌支部

収入の部				支出の部			
科	目	予算額	決算額	科	目	予算額	決算額
大科目	中科目			大科目	中科目		
		円	円			円	円
会費収入		369,000		事業費		433,550	
	会費収入	360,000			本部納入金	186,750	
	特別会費収入	4,500			活動費	167,400	
	入会金収入	4,500			広報資料費	0	
寄付金収入		0			通信運搬費	78,400	
	寄付金収入	0			雑費	1,000	
雑収入		5		管理費		50,000	
	受取利息	5			旅費交通費	20,000	
	誤入金	0			事務費	20,000	
					雑費	10,000	
前期繰越 収支差額		201,826		次期繰越収 支差額		87,281	
	前期繰越 収支差額	201,826			次期繰越 収支差額	87,281	
合計		570,831		合計		570,831	

平成30年度役員名簿

役員名	氏名	備考
会長	徳梅 真	札幌
副会長	奥田 健二	札幌
副会長	高山 譲	札幌
理事	高橋 成香	札幌
理事	丹羽 祐而	札幌
理事	長谷山 豊	小樽
理事	岩井 容子	小樽
理事	木又 孝	小樽
理事	澤田奈緒美	小樽
会計監事	工藤 慶晴	札幌
会計監事	小田島隆幸	小樽

※赤字新役員

～小樽港沖合で平成30年度日露合同訓練を実施～

平成30年6月5日から6月8日までの4日間、第一管区海上保安本部は、北海道小樽市においてロシア連邦保安庁サハリン州国境警備局との合同訓練及び関連行事を実施しました。

本合同訓練は、平成12年に海上保安庁とロシア連邦国境警備庁との間において両長官により署名された「日本国海上保安庁とロシア連邦国境警備庁との間の協力の発展の基盤に関する覚書」に基づき、平成13年からほぼ毎年、日露両国が相互に訪問して合同訓練を実施しているものです。

小樽市での開催は今回で6回目であり、日本側からは第一管区海上保安本部岩崎俊一本部長以下約100名、巡視船4隻及び航空機2機が、ロシア側からはサハリン州国境警備局クドリャショフ局長以下約40名及び国境警備艇1隻が参加しました。

6月6日、小樽港沖合海域で実施した合同訓練では、密輸容疑船に対し、日露海上保安機関が連携して追跡、捕捉を行い、停船させたところを双方の職員がゴムボートにより移乗、制圧するまでの想定で訓練を実施し、両機関共にスムーズかつ適切に連携・協力するとともに、双方のレベルや手法を確認することができました。



【密輸容疑船の追跡及び捕捉】



【密輸容疑船への移乗・制圧】

関連行事として、6月7日午前中、小樽港第3ふ頭において巡視船えさん及びロシア警備艇コーラルの一般公開を実施しました。

岸壁上では国境警備局職員による歌や楽器演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりました。そのほか、各種レセプションやスポーツ交流、日露双方の乗組員が互いの船を訪問するなど様々な交流行事を通じて、両国の親睦・理解を深めることができました。

石狩湾港マリパトロールステーション開設 ～石狩湾救難即応体制の強化～

平成30年7月26日(木)、小樽海上保安部は、石狩湾救難即応体制の強化を目的とした石狩湾港マリパトロールステーション(以下「石狩湾港MPS」という)開所式を実施しました。

石狩湾港MPSは、夏季におけるマリパレジャーが最も活発な約1ヶ月間、水難事故等が発生した場合の迅速な救助作業や海難防止啓発活動の効率的な実施を目的に設置しているものであり、平成21年度に初めて開設してから今年度で10回目の開設を迎えることとなりました。

開所式では、石狩市、石狩湾新港管理組合、北海道札幌方面北警察署、石狩消防署、小樽市消防本部等の関係者の列席のもと、小樽海上保安部長の開所宣言に引き続き、巡視船えさん搭載艇による漂流プレジャーボートの曳航救助訓練、巡視船ほるべつ潜水士による溺者救助訓練を展示しました。

また、開所式終了後には、海上安全指導員が乗船するPWCに交通課職員が上乗りしての海上安全パトロール出動式及び海上安全パトロールを実施しました。



【巡視船えさん飛行甲板で実施された開所式の様子】



【溺者救助訓練の様子】



【海上安全パトロールの様子】

平成30年度第一管区海上保安本部総合訓練を実施！

平成30年7月21日（土）、第一管区海上保安本部は、小樽港沖合にて「平成30年度第一管区海上保安本部総合訓練」を実施しました。

この訓練は、総合的な警備能力の強化や海難救助技術等の向上を目的として実施したのですが、今年度は、管内の巡視船艇7隻・航空機3機の参加に加え、北海道警察警備艇や函館税関監視艇など関係機関の船艇5隻・航空機2機も参加しました。

視閲船である巡視船そうやには、海上保安友の会招待者をはじめ、全国各地からお越しいただいた方々計1,466名（午前758名・午後708名）が乗船し、日ごろの訓練成果をご覧いただきました。

また、巡視船そうやの格納庫内では、各種イベントブースが設けられ、海上保安友の会札幌支部役員による会員募集活動も実施されました。



【一本部長視閲の状況】



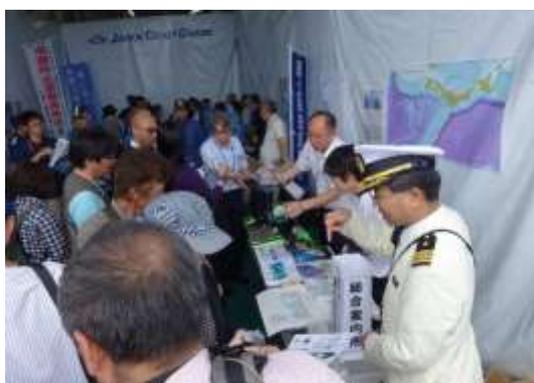
【海難救助訓練の状況】



【高速機動連携訓練の状況】



【テロ容疑船対策訓練の状況】



【イベントブースの状況】



【投稿記事】

～大迫力と感動の一日～

海上保安友の会札幌支部
理事 澤田奈緒美

5月19日、20日の両日、海上保安庁の「観閲式及び総合訓練」が東京湾羽田沖で開催されました。実に6年ぶり、今回は海上保安制度創設70周年記念の節目の年でもあります。初めて見る観閲式がこのような特別なものということで、喜びもひとしおでした。

晴海埠頭から巡視船「やしま」に乗船すると、ヘリ甲板でマスコットのうみまる君が迎えてくれました。岸壁では海上保安官の皆さんが帽振れをしてくださり、観閲船は埠頭を後にします。同じく観閲船の「だいせん」、横浜から合流した「いず」、第一管区「そうや」にも大勢の海保ファンが乗込み、観閲式や訓練が始まるのを心待ちにしていました。



【乗船した「やしま」】



【釧路保安部所属「そうや」】

いよいよ羽田沖に乗到着、遠くから受閲船隊が近付いてくるのが見えました。一直線上に並んだ船艇の勇壮な姿に、あちこちから歓声が上がります。1番船は巡視船「あきつしま」で、右舷側に並んだ保安官の皆さんが、合図と同時に敬礼を行いました。揺れる船の上でも微動だにしない登舷礼の格好良さと凛々しさは、思わずため息がもれるほどでした。



【受閲船隊】

自衛隊や消防、警察、米国沿岸警備隊などの船艇に続き、次は航空機の出番です。シコルスキーにスーパーピューマ、ファルコンやガルフなど、大きな機体が轟音を立てながら観閲船の上空を飛んでいきます。海保や関係機関の航空機が、これほどの数で一堂に会する機会はめったにありません。私は夢中になって、カメラのシャッターを切り続けました。



【ガルフ】



【スーパーピューマ】

観閲式が終わると、今度は待ちに待った総合訓練の開始です。カラフルな着色の放水展示を皮切りに、ヘリコプター編隊飛行訓練、人命救助・海上防災訓練、テロ容疑船捕捉・制圧訓練、高速機動連携訓練が行われました。人命救助では、特殊救難隊がヘリから降下を行い、海上で漂流しているタンカーの乗組員を素早く助け出しました。ここまで正確な位置にタイミングよく降下するためには、普段どれだけ訓練を重ねているのだろう…そう思わずにはいられないほど、見事で迅速な救助でした。テロ容疑船捕捉・制圧訓練では、高速のゴムボートや巡視船艇、ヘリ、関係機関の船艇が連携しながら容疑船を追い詰めていきます。その容疑船に巡視艇から海上保安官が飛び移り、制圧した瞬間は見ている人たちから驚きの声が上がりました。どの訓練も本番さながらの緊迫した内容で、息を飲むほどの大迫力でした。海上での任務は常に危険と隣り合わせ…日々、厳しい訓練に取り組みながら海の平和を守っていることを感じ、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。



【放水展示訓練】



【吊上げ救助訓練】



【テロ容疑船捕捉訓練】

迫力満点の総合訓練が終わると、最後はフェアウェルです。それぞれの船艇、航空機が、工夫を凝らした内容で観閲船のお見送りをしてくれました。ヘリ格納庫では海上保安庁音楽隊の演奏が行われ、その美しい音色とミス日本「海の日」の歌声に聴き入りました。海保の皆さんのおかげで、ファンにとってはこれ以上ないほど充実した幸せな時間を過ごすことができ、ますます「海保大好き！」という思いが強くなりました。ここにお礼を申し上げます。友の会のメンバーとして、これからも全力で海保を応援していきます。



【フェアウェル】



【海上保安庁音楽隊】

～「潮ねりこみ」に、今年も参加しました～

海上保安友の会札幌支部
会員 高橋 司

小樽の夏を彩る一大ページェント「第52回おたる潮まつり」が、今年も去る7月27日から29日の3日間で開催されました。小樽に生まれ育った自分としては、一番楽しみにしている真夏の最大のイベントです。、年々知名度もあがり、今年の来場者は連日の猛暑にもめげず、昨年を3万人上回る119万人の来場を数えたそうです。

この祭りのメインイベントとも言えるのが、2日目に行われる「潮ねりこみ」です。小樽市内外の企業や団体などが梯団と呼ばれるチームを結成し、花園グリーンロードからメイン会場の第3埠頭までを「おたる潮音頭」と「潮おどり唄」に合せを踊りながら練り歩きます。今年もこの「潮ねりこみ」に、第一管区海上保安本部、小樽海上保安部、海上保安友の会札幌支部のメンバーで構成した「海保うしお会」総員96名で参加しました。常々幼少期から慣れ親しんだこの「潮ねりこみ」に参加しないと、真の小樽市民ではないと自負していましたが、なかなか縁がなく、三年前に「ねりこみ」に参加しませんかと、お声かけいただき、ようやく念願叶なって、昨年から参加させていただいています。今年も札幌支部からは、自分を含め5名が参加し、初参加の友の会メンバーは2名でした。

この日は、しばらくお天気が愚図つき、夏らしい暑さが来ないのでは？とも思われていたのですが、前日から一転青空が広がり、真夏の暑さとなりました。

午前中庁舎に集合し、揃いの浴衣に袖を通し着付けしていただくと、気分も段々と、ねりこみムードとなっていくの分かります。その後庁舎一階の食堂で「結団式」が行われ、参加者全員の気持ちが一つになったところで、出発地である「花園グリーンロード」へ向かいました。

出発地点で集合写真を撮影していただき、15時過ぎ炎天下の中スタートしました。

JCGと118番が印刷されたオリジナルのうちわを両手に、「かいほ～」と掛け声を掛けながら、「おたる潮音頭」「潮おどり唄」に合せて、みんなで力強く海保と118番を宣伝しながら、額から流れる汗を拭き拭き、ゴールの小樽第3号埠頭中央ステージを目指して踊っていきました。後半、小樽駅から港に続く、中央通では、海から吹く風が心地よく感じられ、一時に清涼剤になりました。今回も沿道からたくさんの声援をいただき、暑くても笑顔で最後まで楽しく踊ることができました。



【出発地点で記念撮影】



【特製空気タンクを装備してスタート！】

約一時間半程の行程でしたが、終わってしまうと、短く感じられ不思議とまだまだ踊っていたと思うくらいでした。初参加の小樽に住む友の会メンバーは「当初は不安だったが、やっと小樽市民になった感じがする、また来年も踊ってみたい」と仰っていましたよ。「ねりこみ」終了後の懇親会に同席させていただき、海保職員の皆さん達と終始和やかな雰囲気会で会食し、さらに親交を深めることができました。来年は「118」にちなみ、参加者118人で踊ってみたいものです。今から来年が楽しみです。



【投稿写真】

海上保安友の会札幌支部
会員 今井 譲

【満月と巡視船えさん】

【潮花火と巡視船えさん】



【潮ねりこみ】



【就役巡視船情報】

- ◆ 紋別海上保安部所属巡視船「そらち」が、本年9月4日に舞鶴海上保安部へ配属替となり、その代替として、9月27日(予定)に最新鋭の新造中型巡視船「そらち」が紋別海上保安部に就役します。

今回就役する中型巡視船は、旧型の中型巡視船に比べ、船体が大型化され、ウォータージェット推進の採用による操縦性能の向上、遠隔監視探証装置による搜索監視能力の向上、停船命令等表示装置による視覚情報伝達能力の向上、遠隔放水銃による消火能力や放水規制能力向上等海上保安業務全般に渡り対応能力の充実強化が図られています。

船名；そらち
所属；紋別海上保安部
番号；PM57
要目；総トン数 約650トン
長さ 約72.0メートル
幅 約10メートル



※同型船：PM53「とがち」（広尾保安署）

♪♪原稿・写真募集中♪♪

会員皆様の投稿記事又は写真などをお待ちしています。
次の送り先に郵送又はFAXにて送付してください。

送り先：海上保安友の会札幌支部事務局
〒047-0007 小樽市港町5-2 小樽海上保安部内
TEL0134-27-6118 FAX0134-23-9700